



2月の防犯対策



平成31年2月1日

(公社)滋賀県防犯協会

今年も、ニセ電話詐欺に注意を！！

昨年中の県内におけるニセ電話詐欺の被害は、一〇七件（前年比マイナスイヤ）・被害総額は約二億七千六百万円（前年比マイナス約二億一千八百万円）で、前年に比べ被害件数・被害総額ともに減少しました。

しかし、被害全体に占める六五歳以上の高齢者の割合は、件数では約五〇%の五四件、被害額では約四九%の約一億三千五二三万円で、高齢被害者一人当たりの被害額は約二五〇万円となっています。

① オレオレ詐欺
他に昨年中のニセ電話詐欺の特徴としては、

・ 警察官や銀行協会等を名乗る者が事前に連絡し、その後、関係者を名乗る者が自宅まで来て直接現金を受け取る（騙し取る）
・ 被害者を東京等の都市部へ誘導（誘い出す）して現金を受け取る
・ 架空請求詐欺
・ 「総合消費料金未納分訴訟最終通知書」等と書かれた詐欺ハガキによる被害が多発

・ コンビニに設置されたマルチメディア端末を使ってレジで支払わせる（収納代行を悪用する）
・ 手口が増加
・ 知らない人からの「電話でお金に関する話」は詐欺と疑い、不審な電話があれば、必ず家族や最寄りの警察に相談してください。

「電話でお金に関する話」は詐欺と疑い、不審な電話があれば、必ず家族や最寄りの警察に相談してください。



「スマホデビュー」 ちょっとその前に

もうすぐ新学期。進学や進級に合わせ、お子さんのスマホデビューを検討されているご家庭も多いのではないのでしょうか。

インターネットは、情報が詰まった図書館のようなものです。スマホがあれば、子どもたちは情報を簡単に探し出し利用することができます。しかし、それらの情報の全てが、子どもたちにふさわしく安全であるとは言えません。クリックしただけで危険なサイトに行き着いてしまうこともあるということを覚えてあげてください。

子どもたちがインターネット上の犯罪やトラブルに巻き込まれないよう、保護者としてスマホを安全に使える環境を用意してあげましょう。



■ 有害サイトへのアクセス制限（フィルタリング）
お子さんのスマホデビューに際し、保護者として、特に次のことに注意してください。

■ プライバシーを守る
利用するサービス（アプリ等）によっては、自ら進んで大切な個人情報を公開してしまったり、データが盗み出されてしまうことがあります。

特に、スマホで撮影した写真をネット上で公開する場合や、Android端末（Phone以外のほとんどのスマホ）のアプリをインストールする際には、次のことに注意して下さい。

「GPS機能」に注意

スマホで写真撮影すると、端末のGPS機能により、撮影した写真に撮影した場所の緯度経度情報が含まれることがあります。

このため、不用意に自宅で撮影した写真をネット上のブログ等に公開すると、緯度経度等から自宅等が特定されてしまうことがあります。
（対策…カメラ機能を立ち上げ、「設定」の中の「位置情報付加」を「OFF」にすることで位置情報が含まれなくなります。）

「アクセス許可」の一覧には必ず目を通す

Android端末用アプリの中には、個人情報などを盗み取るため、アプリの種類から考えると不自然なアクセス許可を求めてくるものがあります。
アプリをインストールする際に、不自然なアクセス許可や疑問に思うアクセス許可を求められた場合には、そのアプリのインストールを中止しましょう。

「アプリをインストールする際に表示される「アクセス許可」の一覧



ネットワーク通信

アプリがインターネットを利用し、情報を送受信することができます。

個人情報

アプリがアドレス帳などのデータを読み取ることができます。

電話発信

アプリが電話番号や端末識別番号、SIM情報を読み取ることができます。

位置情報

アプリがスマホの位置情報を知ることができます。